

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	19 高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備
政策目標	高速道路から身近な生活道路に至るまで、安全で快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流が活発になっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1) 高速道路ネットワーク等の整備と活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高速道路の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路建設促進費 東海北陸自動車道、能越自動車道、中部縦貫自動車道等の建設促進 ■ 高規格道路の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路新設改良費 富山高山連絡道路、富山高岡連絡道路、高岡環状道路、富山外郭環状道路の整備促進 ■ 高速道路における追加ICの整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東海北陸自動車道城端スマートIC等の整備促進 	<p style="text-align: right;">705</p> <p style="text-align: right;">11,760,000 の一部</p>
(2) 地域の活力を育む幹線道路や身近な生活道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県内各地域を結ぶ体系的な道路ネットワークの整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路新設改良費、街路事業 市町村間を連絡する道路、新幹線駅・港湾等の物流拠点や主要観光地へのアクセス道路等の地域の骨格となる幹線道路の拡幅やバイパス整備、日常生活に密接に関わる生活道路における局部改良などの実施 ■ 幹線道路の渋滞対策や事故の多い交差点等の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路新設改良費、街路事業、道路維持費 朝夕を中心に渋滞の激しい交差点のレイアウト変更や、事故危険箇所において交通安全施設等の整備 ■ 通学路等の安全な歩行空間・自転車走行空間の確保や歩道のバリアフリー化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路新設改良費、街路事業、道路維持費 通学路や鉄道駅周辺等において、歩道、自転車歩行者道等の交通安全施設の整備や歩道のバリアフリー化の推進 ■ 県外からの来訪者等にも分かりやすい案内標識の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県単独交通安全施設整備費 新幹線駅やICから観光地までの主要路線において、道路案内標識や施設案内標識の充実 	<p style="text-align: right;">19,332,000 の一部</p> <p style="text-align: right;">23,982,000 の一部</p> <p style="text-align: right;">23,982,000 の一部</p> <p style="text-align: right;">588,000 の一部</p>
(3) 既存道路施設の長寿命化や災害に強い道路ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 橋梁の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 橋りょう維持費 橋梁長寿命化修繕計画に基づく計画的・予防保全的な維持管理の推進 ■ 災害に強い道路ネットワークの整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路新設改良費、道路維持費 橋梁の耐震化や、道路の落石・法面崩壊等に対する道路施設の整備 	<p style="text-align: right;">522,000 の一部</p> <p style="text-align: right;">8,283,000 の一部</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
高規格道路の整備延長	187.5km	188.7km	189.1km	高規格道路(高速自動車国道、一般国道自動車専用道路、地域高規格道路)の供用済み延長
歩道の整備延長	1,110km	1,120km	1,143km	県管理道路において歩道が設置(片側以上)されている道路実延長